

お話の学習指導案

教育目標

題名 ・ なかのいいきょうだい

年齢 ・ ようじ (3~5さい)

主題 ・ もくひょう：まずしいが、おたがいにたすけあうあにとおとうとのおはなしをたのしくきく。
・ しゅだい：ゆうあい

キーワード ・ きょうだい、ゆうあい、のうじ、いなさく

韓国文化 ・ もくひょう：かんこくのしゅしょくであるこめが、どのようにつくられるのかまなぶ。
・ ようそ：いなさく

韓国語

- ・ もくひょう：きょうみをもっておはなしをきいて、ことばのたのしさをかんじる。
- ・ たngo：벼 (いね)、벗단 (いなたば)、 쓱쓱쓱 (さっさと)、차곡차곡 (きちんと)
- ・ ひょうげん：
벼를 쓱쓱쓱 잘라요.
(いねをさっさとかります。)
벗단을 차곡차곡 쌓아요.
(いなたばをきちんとつみます。)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

きょう、おばあちゃんがするおはなしは、タイトル、さっさとでてこい！
"なかのいいきょうだい"です。
‘なかのいい’とはどういうことでしょうか？きょうだいやともだちのかんけいが
いいことをいいます。なかよくしようとする、どうしたらいいのでしょうか？おた
がいにけんかをしないで、だいじにします。そして、たいへんなことがあるとき
は、おたがいにたすけあいます。なかのいいきょう代いは、おたがいにどれぐら
いたいせつにして、おもいあったのか、いまからおはなしのなかにはいってみま
しょうか？



お話の始まりの歌を歌う

"なかのいいきょうだい"のおはなしのなかへ、しゅっぱつ！
♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかし、あるむらになかのいい、あにとおとうとがすんでいました。おいしいたべものやいいふくをもらうと、おたがいに‘にいさんがさいしょ!’, ‘おとうとがさいしょ!’として、ゆずりました。

“にいさん、きょうはにいさんのたんぼにいて、いねをうえようか?”

“いや、おとうとのたんぼにさいしょにいなをうえよう!”

あにとおとうとはのうじをおたがいにたすけながらしました。ふたりのきょうだいはまなつにととてもあつくても、ちえをはたらかずに、いっしょうけんめいはたらきました。

いつのまにか、あきになりました。

“にいさんのおかげで、ことしもいねがよくそだったね。”

“いや、おとうとがあさはやくからよるおそくまでしごとをしたおかげだ。”

よくそだったいねをみて、あにとおとうとはおたがいにかんしゃしました。

“じゃあ、きょうはおとうとのたんぼにいて、いねをкаろう。”

“いいえ、にいさん。にいさんのいねをさいしょにкаろう。”

あにとおとうとがけんかをするときは、おたがいにゆずりあうときだけでした。ずっとおたがいにゆずりあって、けっきょくおとうとはあにのこたばにしたがい、じぶんのいねをさいしょにかることにしました。あにがよくそだったいなをさっさときると、おとうとがきちんとせいりして、いなたばをつみあげました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

つぎのひには、おとうとがさっさといねをきると、あにがよいしょ、よいしょといっしょうけんめいにいねをはこびました。あにとおとうとのたのよこには、いなたばがたかくつみあがりました。

そのひのよる、いえにかえたあにがおくさんにいいました。

“おい、おとうとのいえのいなたばが、わたしたちのものよりすくないようだ。わたしたちのものを、すこしわけてあげようか？”

“そうですね。でもおとうとがうけとらないでしょう。きょうのよるにだれにもしられずに、おいておくのがいいでしょう。”

ところがやさしいあにのつまがへんじをしました。

“それはとてもいいかんがえだ。”

あにはつきがそらたかくあがるまでまって、まよなかになたばをかついで、おとうとのたんぼにおいておきました。

いっぽうで、おなじひのよる、おとうともおくさんとはなしをしていました。

“にいさんはこどもがおおいから、わたしたちのいねをすこしわけてあげるほうがよさそうだ。”

“そうしてください。でも、うけとらないでしょう。きょうのよるにわからないように、いなたばをおいてください。”

おとうとはじぶんのいなたばをこっそりあにのたんぼにおいておきました。

つぎのひでした。

‘あれ？おかしいな。いなたばがそのままだ？’

たんぼにでたあにがつみあげていた、いなたばをみながらおもいました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

‘お?おかしいな。いなたばがそのままだ?’

おとうともくびをかしげました。

‘だめだ。きょうのよる、もういちどいなたばをうごかさないと!’

そのひのよる、あにはきのうのよるよりもおいしいなたばをもって、おとうとのたんぼにおいておきました。おとうともきのうのよるよりにばいもおおい、いなたばをあにのたんぼにわからないように、おいておきました。

つぎのひのあさ、あにはめがまるくなりました。

‘お?いったい、どうなっているのだ?’

いなたばがひとつもへっていなかったのですね。おとうともめをまるくひらいて、ぜんぜんへっていないじぶんのいなたばをじろじろとみました。

‘きょうのよるは、もっとおいしいなたばをおいておかないと。’

そのひのよる、まあるいまんげつがふんわりとそらにでてきました。あにはいなたばをたくさんもって、おとうとのたんぼにあるいていきました。おとうともいなたばをたくさんもって、よいしょよいしょとあにのたんぼのほうに、あるいていきました。

“そこ、だれなんだ?このよなかに”

おとうとのたんぼのほうにいったあにが、ちかづいてくるひとをみておおきいこえでたずねました。

“お?このこえはにいさん!にいさんではないですか?”

あにのこえをききわけたおとうとが、へんじをしました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

そのとき、つきひかりがいなたばをもっていたふたりのきょうだいをあかるく
てらしました。

“いや、こんなじかんにここになんのようじだ？てにもっているものは
なんだ？

“じつは、にいさんにいなたばをもっとあげたくて、わからないようにもって
きておこうとしました。”

おとうとがへんじをして、あにはいなたばがへらなかつたりゆうがわかり
ました。

“あ、そうだったのか。やはりわたしのおとうとだな。ははは！”

“もしかして、にいさんもずっといなたばをおいていかれていたのですか？お
やまあ、にいさん！ははは”

ふたりのきょうだいはおたがいにだきあつて、いっしょにわらいました。その
あとにも、ふたりのきょうだいはとてもなかよくすごしたといいます。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたおはなしをよくききましたか？

おはなしにでてきたきょうだいは、どんなしごとをしましたか？そうですね。いなさくをしていました。はるにいねのたねをまいて、あきにみになります。のうふたちはできたいねを、さっさと（スックサックスックサック）かりますね。スックサックスックサック（さっさと）は、かるおとをまねたことばですね。のうふたちはかったいねをかたくむすんでおいておきますが、これがいなたばですね。のうふたちはきちんとつみあげたいなたばをみながら、ほこらしさをかんじます。

みなさん、いねのかわをとったものがこめです。

こめにみずをいれてぐつぐつとにると、おいしいごはんができます。

いねといなさくにきょうみがあるおともだちは、‘どらんどらん お話ホームページ’でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、もうおしまいのじかんです。"なかのいいきょうだい"のおはなしはたのしかったですか？

なかがいいきょうだいであるあにとおとうとおたがいをたいせつにして、おもいあいました。たいへんなことはじぶんがもつとしてあげようとして、いいことはあいてにもつとしてあげようとしてしました。とてもうつくしいところではないですか？みなさんもきょうだいと、このようにおたがいなかよくすごしていますか？きょうはきょうだいやちかいともだちに、あいてをおもうところをひょうげんしていちにちをすごしてください。



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

♪ いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。
さようなら！